

令和7年 8月1日

令和7年
6月議会号

No. 82

うきは

市議会だより

どうなった？議員定数！

※現在、欠員1名

14人を維持する？
削減する？

議会の役割とは？

市民の意見はどう
くみ取られたのか？

これからの時代の
議員とは？

議会の主な仕事

・・・
市政 予算や議案の決定
民策 市の監視
の の 代 提 案
代 提 案 弁 案 視 定

CONTENTS

- どうなる？議員定数？ P2 ～ P3
- 5月臨時会・6月定例会 P4 ～ P5
- 一般質問！今回は7名から！ P6 ～ P9
- 委員会報告（総務産業・議会運営・厚生文教） P10 ～ P11
- 市民の声・表紙紹介・編集後記 P12

発議第4号

うきは市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

議会改革特別委員会報告のとおり、定数を削減することについては、意見が一致せず、12名にすべきと考える議員により発議がされました。

提出者 野鶴 修 賛成者 佐藤 裕宣、高松 幸茂、高木 亜希子

否決

現状維持
14名!



【提案理由】 特別委員会での審議の結果、現状維持と定数を12名に削減することに意見が分かれたが、以下の理由で削減を提案する。

- ① アンケートによる市民の意向47%が削減を望んでいる
- ② 若者が立候補し易い条件整備
2名減員の分で報酬を上げる
- ③ 議員定数 偶数の定理
裁決時に同数にならない

議会改革特別委員会報告(6/13)

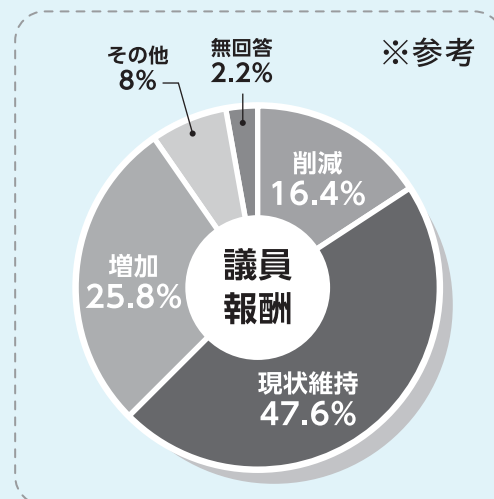
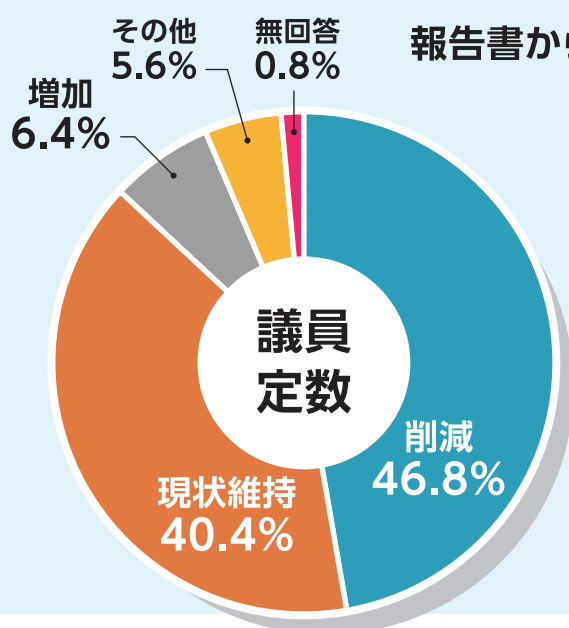
本市の課題(財政、人口減少、若者の政治離れ等)の克服のために、議員報酬や議員定数を検討してきた。



報告書

ワーキンググループ会議 9回
全体会議 4回(R5.5 ~ R7.5)
市民アンケート調査 (R5.10 ~ R6.3 500名)
アンケート結果(概要)は市議会だよりNo.78
結果:現状維持と削減に二分

報告書から関係部分(アンケート結果の一部)を抜粋



議員定数の 現状維持、削減、増加 を選んだ理由(複数回答)

削減	234名	経費削減分を報酬に回し、若者の挑戦をしやすくする … 133 経費削減できる … 117
現状維持	202名	規模に合っている、特に問題なし、減らすと民意が届きにくくなる … 202
増加	32名	議員は市民の代表として一定数が必要 … 23 その他(議会の役割を果たせない、民意の伝達) … 21
その他	28名、無回答	4名



熟議を尽くし、徹底討論!!

まずは質疑

Q 議員報酬は交付税措置されるので、定数を減らさなくて良いのではないかと？
A 全額が措置されるわけではないので、財政を圧迫することになる。

Q 若者が出やすくなる報酬額は？
A 議会ではなく、報酬審議会が審議すること。

Q アンケート回答数が500人では少ないのでは？
A アンケートだけを根拠にしている。直接市民の話も聞いている。

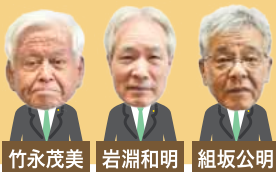
Q 次の議会を待たずに今回発議した理由は？
A 次の市議会議員選挙までの期間を考えると、新人には時間が不足する。

Q 若者が出やすいようにするなら、定数は減らさない方がよいのでは？
A 定数を減らさないでも、報酬が少なければチャレンジしないだろう。

Q 委員会審査も人数が少なくなり、判断にかたよりが出ないか？
A 少数精鋭でやっていく。

賛否に分かれた真剣討議!

反対



減らすと、チェック機能、多様性、市民意見の吸い上げ、災害対応等の機能低下になる。

賛成



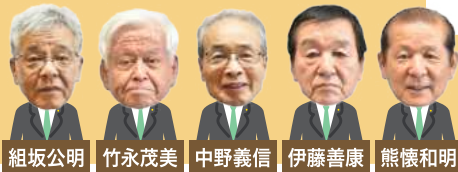
定数と報酬は別に考えるべきだが、財政を考慮して、報酬を上げるために定数を減らすのは仕方ない。

賛成



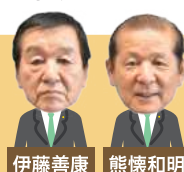
10万人未満の近隣市の平均は市民2700人台に議員1人。改選時、12名ならば2200人台。市民の代弁者として不足はしないと思う。

反対



類似団体と比べて、人口あたりの議員数は多くない。

反対



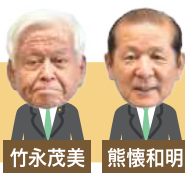
「若者と女性の立候補を」というのに間口を狭めるのは間違い。

賛成



市民は定数と報酬をセットで考えている。

反対



アンケート結果は、「現状維持」と「増加」を合わせたら「削減」と同率。

反対



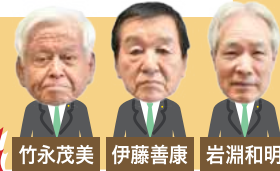
発議には8割ぐらゐの賛同者が欲しい。

賛成



少数精鋭で行く。

反対



報酬のための定数削減は筋違い。



議員名	欠員	高木亜希子	高松幸茂	樋口隆三	組坂公明	佐藤裕宣	野鶴修	竹永茂美	岩淵和明	中野義信	佐藤湛陽	伊藤善康	熊懷和明
賛否	—	○	○	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●

※議長(江藤芳光)は賛否が同数の場合にのみ議決に参加します。(賛成:○、反対:●)

5月臨時会

5月9日

今議会は、副市長選任等の人事案件、
補正予算専決承認案件等を審議しました。

人事

副市長
吉村 祥一さん
しげむら しょういち

平成15年に福岡県庁
に入庁。企画振興部、
福岡県教育委員会、
自治大学校派遣、総
務部などを歴任。任
期は令和7年6月か
ら4年間。



監査委員
石井 好貴さん
いしい よしか

任期は令和7年6月から
4年間。



公平委員会委員

任期は令和7年6月から4年間。

田中 鈴子さん (再任)
たなか すずこ
江口 和規さん (再任)
えぐち かずき
庄山 清美さん (再任)
しょうやま きよみ

教育委員会委員

任期は令和7年5月24日から4年間。

平位 秀俊さん (再任)
ひらい ひでとし

6月定例会

6月13日～27日

今議会は、物価高騰対応重点地方創生臨時交付金事業等に
関する補正予算や条例改正等を審議しました。

| 増額 /

補正予算 3億1,972万円

| 主な補正予算(支出)

調整給付金 令和6年度に実施した定額減税の限度額に至らない方を対象とした調整給付金の給付において、令和6年分の所得額が確定したことにより、算定による差額を給付するもの。	2億1,784万円
障がい福祉事業所等物価高騰対策支援金	3万円
高齢者施設等物価高騰対策支援金	342万円
保育所等給食費補助金 うきは幸輪保育園・わかば幸輪保育園・遊林愛児園	505万円
し尿汲み取り世帯等支援金 下水道使用料減免世帯以外の世帯に対し、汲み取り費用の一部を助成。(3千円×2回)	660万円
下水道使用料減免事業(操出金) 物価高騰の影響を受ける市民等に対し、下水道使用料(公共下水道・農業集落排水・市設置合併浄化槽)の2カ月分を全額免除。	7,400万円

主な議案

請願(第1号)

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元、次期学習指導要領内容精選をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の要請について」

福岡県教職員組合浮羽三井支部
支部長 古賀 伴子

【審査結果】全会一致で採択となり意見書提出となりました。

陳情(第2号)

「陳情書(就学援助制度拡充の広報と啓発をさらに進めることを市議会から意見する要望)」

中島 健一

【審査結果】全会一致で趣旨採択となりました。



議員永年15年勤続表彰

全国市議会議長会より、勤続15年を迎えられた江藤芳光議員が永年勤続表彰されました。



審議結果(5月臨時議会)

議案等番号	件名	議決結果
議案第45号	令和6年度一般会計補正予算(第10号)(専決処分)	承認
議案第46号	うきは市税条例の一部改正(専決処分)	承認
議案第47号	地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税減免に関する条例の一部改正(専決処分)	承認
議案第48号	国民健康保険税条例の一部改正(専決処分)	承認
議案第49号	副市長の選任について	同意
議案第50号	監査委員の選任について	同意
議案第51号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第52号	教育委員会委員の選任について	同意

審議結果(6月定例会)

議案等番号	件名	議決結果
議案第53号	令和7年度一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第54号	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第55号	令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第56号	財産の取得について(タブレット端末1,552台)	可決
議案第57号	辺地に係る総合整備計画の変更について	可決
議案第58号	市道路線の変更について	可決
議案第59号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決
議案第60号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決
議案第61号	公共施設等整備基金条例の一部改正	可決
発議第4号	議員定数条例の一部改正	否決



令和7年第3回定例会

一般質問

うきは市行政課題と地域の
課題を質問しました

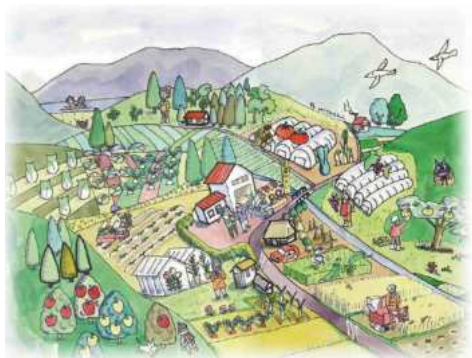
岩淵 政府が策定の食料・農業・農村基本計画がうきは市に与える施策の影響について所見を。

市長 食料安保、収益力向上、環境負荷低減、農業振興などが盛り込まれ本市の農業発展に寄与する事業につなげていきたい。

岩淵 うきは市の基本構想の課題で、認定農業者の減少、生産組織の法人化移行、農地の集積状況等は。

市長 次世代へ継承するため基本的な構想の取組を着実に進める。認定農業者は令和元年から令和6年度末で6名減少し、担い手減少に直結し深刻な課題と認識する。営農法人化の促進は担い手の高齢化や地域内の合意形成の困難さ等の課題に直面している。

農地の集積率目標80%に対し現状57%で、集積の困難な果樹・園芸品目が多いこと、中山間地の農地が多いからと認識している。



うきは市の農業振興策を考える

岩淵 副業的農家等の農地の確保は環境保全や農業振興に重要で、基本構想は位置付けが弱いと考えるが。

市長 専業農家だけでなく副業的農家の方々や新規就農など多様な農業者による営農は農業だけでなく集落環境の維持発展に資すると認識する。



いわぶち かずあき
岩淵 和明
議員

農業振興基本条例の制定を

県の基本計画を基本とし
うきは市の基本的な構想に注力する



市長





くまだき かずあき
熊懷 和明
議員

今後の公共施設等の 木材利用の促進は

木材利用の促進は



今後の建築物について適切に
判断し、木材の利用に努めたい



市長

熊懷 今後は木材を利用する施策

を行い、公共施設の建築物等の
木造化が困難な施設において
内装等の木質化に努めてほし
い。

市長 公共施設である学校の建設

など、内装の木造化、木質化等も
含めて、今後も従来どおりしっ
かり取り組みたい。

熊懷 市有林におけるF M森林認
証の活用について。

市長 今後とも市内外の木材市場
や製材所における森林認証へ
の需要を聞き取りながら、森林
認証の取組を継続したい。

【地域農業政策について】

熊懷 農業機械の高騰により農家
の負担が増しているが、今後の
市の対応の考えは。



田植え風景

熊懷 狭い農地を今後守っていく
ためには、地域営農組織づくり
等が必要だと思っており、何か
前向きな考えはないか。

農林振興課長 今後組織づくり
に関しては、当然行っていく。

その後、組織が独立して継続
的にやっていけるように支援
はしていきたい。

市長 引き続き、小規模農家の
方々にも安心して農業ができ
るよう持続可能な地域農業の
実現を目指して、実情に即した
柔軟な対応を取っていきたい。



くみさか きみあき
組坂 公明
議員

今後のごみ処理事業について、 地元行政区への 具体的な説明内容は？



広域処理及び一部処理委託を優先し
協議を進めるが、現施設は操業延長したい。



市長

【ごみ処理事業について】

組坂 ごみ処理事業の方向性につ
いて、地元行政区への具体的説
明内容は。

市長 人口減少・ごみ排出量の減
少が見込まれる中、大きな予算
をかけ、市単独の処理施設建設
は困難である。国・県が推進する
近隣自治体との広域処理及び
一部処理委託を優先し協議を
進めているが、具体的には決
まっていない。当分の間は現行
の施設を継続したい旨の説明
と相談をしている。

組坂 稼働20年を経過してい
るが、大規模な施設改修は必要
なのか。

市長 建物は50年以上使用でき
ると確認している。内部施設は、定
期的に部品交換や必要な改修
工事も行い、今後10年以上は使

用できると確認している。ごみ
収集を停止して行うような大
規模改修工事等は、今後におい
て予定していない。

【公民館等新築等補助金について】

組坂 人口減少・世帯数減少して
いる各行政区は、公民館の維持
管理も困難な状況にある。公民
館解体工事も補助対象にでき
ないか。

市長 各公民館
の利用実態
や建物の現
状等を把握
しながら、支
援の在り方
について検討
していく。



今後どうなる？
耳納クリーンステーション



たけなが しげみ
竹永 茂美
議員

商店街の活性化策として
お年寄りが買い物しやすい
バス停の整備は



昨年度、地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、
地域公共交通計画を策定した



市長

竹永 バス停整備を地域公共交通
活性化協議会で論議したのか。

企画政策課長 全体的な公共交通
について話し合い、細かな話は出
ていない。

竹永 バス停の整備状況を市のほ
うで調査・点検したのか。

企画政策課長 バス停整備は基本
的には民間バス事業者が設置し
ているので一部を除いて把握して
いない。

【働き方改革について】

竹永 昨年度、超過勤務360時
間以上の数は何名いるのか。

市長 市職員8名。

教育長 小学校134名中73名、
中学校57名中43名。

竹永 法の改正により、教育委員
会は業務量管理、健康確保措置
実施計画を定め公表し、教育総
合会議に報告するとあるが。

教育長 来年度から教育総合会議
で協議するようになる。

竹永 市職員の充足率はどのくら
いか。

市長 職員定数条例によれば
259名で一般職員は229名
で約88%の割合。

竹永 市民サービス向上からもう
少し定数条例に近い採用をす
べきではないか。

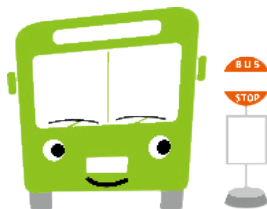
市長 行財政をあずかる身として
経費は厳しく管理しなければな
らない。

その他の質問

▼小・中学校保
護者の負担軽
減について

▼浮羽真館高
校生から出た
通学路安全策
の進捗状況

屋根、ベンチ、照明の
整備が急がれるバス停



たかまつ ゆきひろ
高松 幸茂
議員

不登校児童・生徒の
学習機会保障について



多様な学びの場の周知をしている



教育長

高松 在宅児童・生徒の支援はど
うしているか。

教育長 希望に応じて遠隔学習を
認めている。ホームスクーリング
の検討や教室以外の居場所も大
事だと考える。

高松 適応指導教室通級生への支
援はどうか。

教育長 訪問をして支援を助言し
ている。

市長 他市の適応指導教室の利用
状況を調査したい。

高松 社協のフリースペースに通
う子どもたちの支援はどうか。

市長 安心感を得られる居場所。
マイペースで興味関心を探求し、
社会へ踏み出す契機と考える。過
去には、オンライン授業を受けて
出席扱いになった例もある。

高松 民間フリースクールの生徒
の支援はどうか。

教育長 保護者も交えて会議を行
い支援している。

高松 市民センターは想定
以上の傷みが想像される。浮羽
町中心部の長期的視点でのま
ちづくり論議を始める好機で
はないか。



うきは市立図書館

市長 令和9年度からの公共施設
等総合管理計画を策定する中で
しっかりと検討していきたい。

【図書館運営、
市民センターの建物について】

高松 開館時間短縮をもとに戻す
よう要望がある。

教育長 今後とも状況を把握し、
サービス向上に努める。

高松 うきは市民センターは想定
以上の傷みが想像される。浮羽
町中心部の長期的視点でのま
ちづくり論議を始める好機で
はないか。



たかき あきこ

高木 亜希子
議員

5歳児健診完全実施の前に
早めに取組をすすめてほしい



令和10年度を待たずに取り組んでいくことは前向きに検討したい



市長

高木 こども家庭庁が発達障害早期発見から療育へつなげることを目的の1つとし、5歳児健診を推進しているが考えは。

市長 現在、保育所や子育て支援センターでの巡回型発達相談と、来庁型のすくすく発達相談という2つの発達相談を行っている。しかし3歳児の法定健診が終わると多職種による健康診査はないので、一定必要であるという認識を持っている。

高木 就学前の準備性を高めるためには、年中児の時期に実施して事後相談への取組を始めることが有益であること、早期の支援開始が学齢期の不登校発生の低下要因につながるというデータがある。

5歳児健診
ポータルサイトはこちら

多職種が関わる
↓
地域全体の子育てスキルがあがる
↓
家族が健やかに暮らせる地域に!

その他の質問

▼養育費確保支援

▼基金運用

苦労するケースも。5歳児健診であれば全員が受けるので必要だという声もある。早めに進めてほしいがどうか。

市長 現状のシステムの中でブラッシュアップしながら活用していくことが肝要だ。令和10年度を待たずに取り組んでいくことは、前向きに検討したい。



ひぐち りゅうぞう

樋口 隆三
議員

通学路の交通安全確保に向けた
取組の推進について



毎年、市通学路安全推進会議を開催し「通学路交通安全プログラム」で対策



市長

樋口 通学路の交通安全の確保に向けた取組については、地域ごとに通学路の交通安全の確保に向けた取組の基本的方針を策定し、関係者で構成した協議会を開催。構築を図ることが指導されているが。

市長 本市では、うきは市通学路安全推進会議を開催し「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の安全確保に取り組んでいる。

教育長 協議内容については、各学校から通学路の危険箇所の報告を受け、うきは警察署・国土交通省久留米維持出張所・県土整備事務所・建設課・学校教育課で事前に現地調査を行い、会議において対策を計画している。

樋口 江南小学校区の上古賀地区方面から通学する子ども達が通学時において交通事故に巻

き込まれそうになった等の事例が頻発していることを学校教育課は認識されているのか。

教育長 平成27年度から令和6年度までの間、32件の危険箇所が提出されている。今竹区の集落内の市道が交わる交差点について提出されているので、危険箇所としての認識はしている。

その他の質問

▼男性の「産後うつ」に求められる支援について

▼誰もが楽しめる公園、インクルーシブ遊具設置について



総務産業常任委員会 閉会中調査報告



日時 令和7年4月18日(金曜日)

調査事項 「鳥獣害に関する調査」

調査要旨

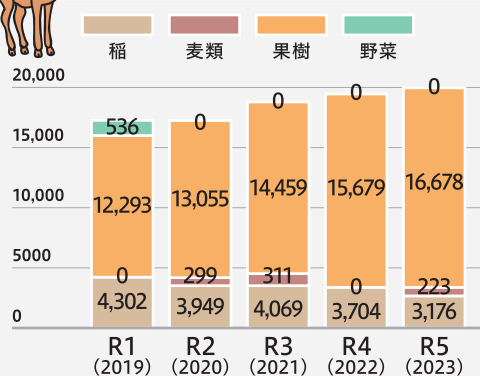
市内の耕作地における鳥獣による被害が拡大していることから、被害・防除・駆除の現状及び駆除班・地域活動隊等、取組を確認し鳥獣害対策の現状と被害実態を把握し、対策のあり方について協議を行った。



総務産業常任委員会



被害金額(千円)



届出のあった被害金額

課題は、駆除班の高齢化が急速に進み、後継者をどうしていくか、止め刺しができる人の育成、捕獲現場のDX化や電気柵の作業の簡素化など、捕獲・防除への課題が多く、早期の方針化が必要と考える。

今後、委員会では、駆除班・地域活動隊との意見交換を行い、支援のあり方、更に、現状の捕獲を中心とした対策から、防除する対策への施策についても意見を交わし、農水省が実施している、「全国鳥獣被害対策サミット」で公表されている、取組事例の視察を検討し、引き続き閉会中の調査を継続することとした。

議会運営委員会

議長諮問による答申

1、調査の経緯

令和7年3月定例会において、竹永議員が一般質問を行った際、配布資料に通告事項に含まれていない「浮羽駅無人化」に関する情報が記載されていた。同資料には、浮羽駅の年間売上金額や乗降客数等の数値が掲載され、当該情報はJR九州が公表していない非公式情報であり、正確性を欠くものとして、執行部より議長に対して申し入れがなされたもので、議長より令和7年5月9日付けで、次の事項が諮問されたもの。

・通告外資料をあげた行為の検証及び委員会としての結論
・今後の再発防止策

2、議会運営委員会としての結論

民間企業の非公開及び不確実な情報を無断で公的資料に掲載し、配布した行為は、議会の品位と信頼を損なったと認められる。また、通告書にない質問を行おうとした行為は、一般質問の通告制のルールを逸脱している。よって、議会として厳重注意を行うべきである。

3、再発防止策

資料事前審査の強化(資料は質問を行う5営業日前までに提出)、情報源明示の義務化、資料番号等標記し、資料配布前に点検内容の見直し強化を図る。

※竹永議員にあつては、令和7年6月5日全員協議会時に江藤議長から厳重注意を受けた。なお、江藤議長に対しても、本会議において通告外資料配布を許可した責任が問われた。令和7年6月13日に全員協議会が開催され、江藤議長も通告外資料配布許可の瑕疵を認め謝罪した。

Youtube



報告 01 带状疱疹ワクチンの助成について

本年度から、带状疱疹予防接種が開始されました！

対象者

- ① 年度内に65歳を迎える方
- ② 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がいがあり日常生活がほとんど不可能な方。

助成対象となるのは1回のみです。

さらなる注意点

隙間年齢該当者の任意接種は今年度のみ！

ワクチンには生ワクチンと組換えワクチンの2種類があります。それぞれ価格や副反応などメリット・デメリットがあるため、接種者各自が慎重に検討することが望ましいです。

厚生労働省の
带状疱疹に関する
パンフレット



厚生文教常任委員会



報告 02 学校支援のあり方について

教育分野における学校教職員以外の「市民の関わり」について、事業ごとにヒアリングを行いました！市民が関わるための基盤づくりが肝要です。

みんなで次世代育成に
取り組みましょう！



うきはっ子応援隊

有償ボランティア。生涯学習課で登録。支援を希望する学校の依頼と、登録者のマッチング後に活動。昨年度の派遣回数は小学校が約1,500回、中学校が約120回。



随時募集中



部活動支援

少子化や学校教職員の働き方改革などを踏まえ、部活動の地域展開の動きが広がっている。今年度は部活動指導員を4名配置。外部指導員は月15日まで増加。地域展開の場合の移動手段や経費負担など、課題は多い。



コミュニティ・スクール 導入検討

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、文科省が進めている仕組みである。現在、地域と学校の共同活動が既に一定程度行われており、教育委員会で導入計画検討は行っていない。



**R7年4・5月
閉会中調査報告
厚生文教常任委員会**



**R7年4月
閉会中調査報告
総務産業常任委員会**

市民の声

景観に配慮した ゴミ箱の設置を

私がうきは市に住んでいてよかつたなと思うところは、野菜や果物がとても美味しいところです。おかげで特段好き嫌いのすることもなく育ちました。

そんな私なので、食べることが大好きです。市外に住んでいる友人と緑や街並みを楽しみつつ、食べ歩きやカフェ巡りをすることもあり、そんな中で、観光客の方とすれ違うことが多くなりました。海外の方も

お見掛けするので、うきは市の良さが広く伝わっているのだなと嬉しく思います。

食べ歩きをしていると、やはり捨



岩澤 美歩さん
うきは市吉井町在住



議会を傍聴しませんか

9月議会定例会は

9月5日(金)開催予定です。

一般質問は

9月8日(月)

9月9日(火)

の予定です。



Youtubeのライブ配信と
録画配信もぜひご覧ください。

9月議会への請願書・陳情書は、
8月26日(火)正午(予定)までに提出してください。

表紙 紹介

今回は、「次の改選時、議員定数はどうなる？」という大きな議案がありましたので、表紙で取り上げました。「市議会議員にチャレンジする若者・女性、現役世代が増えるには？」という観点での議論もありました。動画も配信されています。是非、ご覧下さい。



最終日1本目



最終日2本目

編集後記



極端に早い梅雨明けと、その後、いきなりの猛暑に参っているのは、私だけではないと思います。

先の6月議会では、議会改革特別委員会で論議してきた「議員定数と報酬について」の、議会としての結論(定数は現状維持)は出ました。報酬の論議も「熱く」行いましたが、議会は決められないのです。いずれにせよ報酬等審議会の答申を待つこととなります。どのような審議を経て答申がなされ、市長がどのような判断をされるのか注目したいと思います。

気温が高いと、豪雨や突風、台風被害の激甚化が予想されます。お住まいや職場での防災について、皆さんでお話し合ってください。

(高松幸茂)

発行責任者

議長 江藤 芳光

広報広聴委員会

委員長 熊懷 和明

副委員長 組坂 公明

委員 岩淵 和明

竹永 茂美

高松 幸茂

高木 亜希子

議会事務局

TEL. 75-4990

FAX. 75-3342